

第44回

第62回

第8回

全国公民館研究集会

関東甲信越静公民館研究大会茨城大会

関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会

五浦六角堂／北茨城市

偕楽園／水戸市

国営ひたち海浜公園／ひたちなか市

宮山ふるさとふれあい公園／筑西市

帆引き船／かすみがうら市

水郷潮来あやめ園／潮来市

テーマ **だから公民館、やっぱり公民館**
～公民館の今を学び 明日を見つけ 地域を創る～

全体会 令和**4**年**10**月**27**日(木)～令和5年7月31日(月) [オンデマンド]

分科会 令和**4**年**10**月**28**日(金) 12:30～15:50 (Zoom)
 令和**4**年**12**月中旬～令和5年7月31日(月)
 [オンデマンド] *10月28日の様子を配信します。

どなたでも
参加できます！
参加費1,000円
(記録集1部付)

茨城県教育委員会
マスコットキャラクター
ふれあちゃん



大会WEBサイト
 「大会の最新情報」や「オンデマンド
 配信の情報」、「参加申込書」等を
 掲載しています。



CHECK



開催要項

開催の趣旨

2011年、東日本大震災が日本列島を震撼せしめました。そして、11年前のこの年、第52回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会が開催されました。震災後の混乱の中、「新しい時代（協働の時代）の公民館の役割」を基本テーマとする一日だけの日帰り大会として実施されたのです。

その後、11年が経過しました。震災復興の道途上にして数多くの自然災害に直面し、現在は新型コロナウイルスのパンデミックと立ち向かっています。このような困難な状況に社会教育、とりわけ公民館はどのような役割を期待されているのでしょうか。

また、パラダイムシフト*と称される社会転換が急速に進んでいます。AI社会の到来は、近未来の仕事内容を大きく変えるといわれています。次世代を担う子どもたちに何を手渡したら良いのでしょうか。また、社会だけではなく、私たちの暮らし方も大きく転換し始めています（ライフシフト）。家族のカタチが変化し、地域コミュニティの衰退が進行し続けています。このような中で、私たちは「人生100年時代」を迎えようとしています。

公民館は「戦後民主主義の学校」として誕生し、もうすぐ80年になります。高度成長期、私たちは過疎・過密の真っ只中で地域を支え、新しい暮らしを創るべく、「時代に対応した学び」の内容と方法を生み出してきました。「住民の幸せ」を中心に据えた地域の拠点であり続けました。バブル期もバブル崩壊期もそうでした。そして、新型コロナウイルスにさらされている現在も変わりありません。

今、公民館は時代の分岐点に立っています。だから、「何を学び」「何を実現していけばいいか」が問われているに違いありません。公民館はこの課題に対し、常に、公民館活動の実践によって応えてきました。本大会が、過去の公民館から学び、未来の公民館活動を切り開くために、「公民館の過去・現在・未来」を語り合う場になってくれれば幸いです。時代の流れに対応し続けてきた公民館の姿から、「だから公民館！」にふれて欲しいと思います。そして、時代を切り開く「学び」を組織してきた公民館の姿から近未来を考え、「やっぱり公民館！」を確かめ合いたいと思います。

*パラダイムシフト：時代や社会において、常識的な考え方の枠組みが、革命的、劇的に大きく転換すること

全 体 会

配信期間：令和4年10月27日（木）～令和5年7月31日（月）[オンデマンド]

内 容：開催県事例発表

タイトル

「～人生100年時代～「かさま志民」への学びの場を」

事例発表者

横田 繁稔（笠間市立笠間公民館 館長）

※令和3年度優良公民館文部科学大臣表彰最優秀館

シンポジウムタイトル

「公民館はまちづくりの「核」になれるか？

～地域の課題に応え、住民が参加する公民館活動～」

コーディネーター／手打 明敏（筑波大学 名誉教授）

シンポジスト／大川 文一（鹿嶋市立波野公民館 主査）

北見 浩子（稲敷市桜川公民館 係長）

小池 睦美（高萩市秘書広報課 係長）

分 科 会

開催日：令和4年10月28日（金）12：30～15：50（Zoom）

内 容：オープニング、事例発表

配信期間：令和4年12月中旬～令和5年7月31日（月）[オンデマンド]

*10月28日の様子を大会WEBサイト等で公開

主催 主管 後援 協賛

公益社団法人全国公民館連合会、関東甲信越静公民館連絡協議会、茨城県公民館連絡協議会、茨城県教育委員会、茨城県生涯学習・社会教育研究会
第44回全国公民館研究集会 第62回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会 第8回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員会
文部科学省、茨城県市長会、茨城県町村会、茨城県社会教育委員連絡協議会、茨城県視聴覚教育振興会、茨城新聞社、（一社）水戸観光コンベンション協会
（公財）茨城県教育財団、NPO法人ひと・まちなっとわーく、NPO法人インパクト、NPO法人日本スポーツ振興協会、（公財）日本教育公務員弘済会茨城支部

分科会日程

12:30～12:50 オープニング
 13:00～13:50 事例発表A(コードが1A、2A、3A、4A、5Aの発表)
 14:00～14:50 事例発表B(コードが1B、2B、3B、4B、5Bの発表)
 15:00～15:50 事例発表C(コードが1C、2C、3C、4C、5Cの発表)

分科会テーマ・助言者	タイトル・事例発表者 *敬称略	コード
第1分科会 地域活性化と公民館 さかもと のぼる 坂本 登 (茨城県生涯学習・社会教育研究会 副会長)	◆山梨県 「ふるさとの魅力再発見！地区公民館を拠点にした歴史散歩」 杉本 悠樹 (富士河口湖町教育委員会生涯学習課文化財係 係長)	1A
	◆栃木県 「地域の熱い想いをカタチに～郷土愛を育む取り組み～」 湯沢 義久 (宇都宮市市民まちづくり部河内生涯学習センター 所長)	1B
	◆群馬県 「公民館における地域学校協働活動～学校を核とした地域づくりを目指して～」 山岸 雅彦 (館林市大島公民館 館長)	1C
第2分科会 課題解決のための 連携・協働 かねふじ 金藤 ふゆ子 (文教大学 人間科学部 教授)	◆神奈川県 「学校や地域住民など多様な主体と連携した公民館講座・イベントづくりについて」 別府 拓自 (寒川町民センター 館長)	2A
	◆東京都 「大学との連携～学び合いを支える実践力を培うCLC講座～」 伊東 静一 (東京都公民館連絡協議会 顧問)	2B
	◆千葉県 「公民館と民間企業の連携で見えた可能性と、今後考えていきたいこと」 今井 雄生 (君津市上総地域交流センター 社会教育主事 兼 上総公民館 公民館主事)	2C
第3分科会 近未来の課題と公民館 さかい ともじ 坂井 知志 (デジタルアーカイブ学会 理事)	◆埼玉県 「SDGs 子どもたちが考える未来～すごろくゲームの製作を通して～」 小野寺 尚子 (川越市教育委員会教育総務部中央公民館 副主幹)	3A
	◆新潟県 「Withコロナに向けた公民館の取り組み」 村山 明 (新潟市中央公民館 館長補佐)	3B
	◆長野県 「教育による持続可能な遠山郷へ～小さくてもキラリと光る ここで暮らす遠山家族～」 宮田 浩司 (飯田市南信濃公民館 主事)	3C
第4分科会 地域や団体が設立・運営する「たまり場公民館」は既存の公民館に何を教えてくれるのか なかしま みなこ 中島 美那子 (茨城キリスト教大学 教授)	◆茨城県筑西市 「五感直感・たまり場賛歌」 小松崎 登美子 (たまり場・たろう 主宰者)	4A
	◆茨城県つくば市 「多世代、多文化、他地域交流の魅力」 飯塚 洋子 (NPO法人華の幹 代表理事)	4B
	◆茨城県大子町 「地域課題に取り組む、大工集団の挑戦！ ～豊かな自然の中で育まれた文化や子どもたちを未来へつなぐために～」 菊池 均 (大子町大工グループ樹輪 代表)	4C
第5分科会 地域住民が運営(参画)する公民館・市民センターの最前線 いとう まきこ 伊藤 真木子 (青山学院大学 准教授)	◆茨城県稲敷市 「地域住民の参画の方法としての公民館運営企画委員会」 北見 浩子 (稲敷市桜川公民館 係長)	5A
	◆茨城県鹿嶋市 「豊かな地域資源を生かした持続可能な地域づくり」 木之内 健治郎 (鹿嶋市立豊郷公民館 館長)	5B
	◆茨城県守谷市 「市民の活動拠点 守谷市民活動支援センターを知る」 高橋 真美 (守谷市民活動支援センター センター長) 古橋 俊夫、高木 保 (もりや市民大学 運営委員)	5C

参加申込

参加対象		公民館関係者・利用者、生涯学習・社会教育関係者、地域活動実践者 等 * どなたでも参加できます。
参加費		1,000円 （記録集1部付、送料込） * 分科会（Zoom）参加は、参加申込みが必要です。 * 記録集のみ必要な方は、参加申込みが必要です。 * オンデマンドの視聴は、参加申込みが不要です。 * 記録集は、複数部申し込むことも可能です。（1部1,000円）
申込み方法	WEB（原則）	右記のQRコード（参加申込）もしくは、大会WEBサイトに記載の「WEB申込」より、お申込みください。 * 「WEB申込」をされた方のお申込み後の変更・取消は、WEB上で行うことができます。
	メール	「WEB申込」が難しい方は、大会WEBサイトより「参加申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、以下のアドレスへ送信ください。 * 「メール申込」をされた方のお申し込み後の変更・取消は、以下のアドレスへお願いいたします。 E-mail: kouminkan2022@nta.co.jp
申込み期間		令和4年8月1日（月）～令和4年9月30日（金）
支払い期限		令和4年10月7日（金） * 期限までにご入金がない場合は、お申込みをキャンセルさせていただきます。
支払い方法		以下のいずれかの方法で、参加費をお支払いください。 ①クレジットカードによるオンライン決済 ②コンビニ決済 ③銀行振込 お支払い方法の詳細は、参加申込後の「受付確認」のご連絡メールにてお知らせいたします。 * お支払い後の取消・減冊は一切承れませんのでよくご確認の上、お申込み願います。
参加までの流れ		①WEBもしくはメールにて「参加申込」ください。 ②土日祝日を除く3営業日以内に「受付確認」のご連絡をメールにてお送りします。 ③「参加費」をお支払いください。 ④分科会（Zoom）参加に必要な情報をメールにてお送りします。（10月中旬頃）



* 間違い防止のため、お電話による受付・変更・取消はいたしませんので予めご了承ください。

第44回全国公民館研究集会茨城大会／第62回関東甲信越静岡公民館研究大会茨城大会／
第8回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会WEBサイト
（「大会の最新情報」や「オンデマンド配信の情報」、「参加申込書」等を掲載しています。）
URL: https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/44th_kominkan_research/



CHECK



【個人情報の取扱い】

お申込書にご記入いただいたお客様の個人情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス等）につきましては、お客様との連絡、今大会における手続きに必要な範囲において、株式会社日本旅行及び大会実行委員会事務局が共同して利用させていただきます。（株式会社日本旅行の個人情報保護基本方針の詳細につきましては、お手数ですが、以下URLよりご確認ください。）

URL: <https://www.nta.co.jp/security.htm>

また、分科会（Zoom）に参加した際の映像や発言は、オンデマンド配信や記録集等に使用する可能性がありますのでご了承ください。

■大会申込みについての問い合わせ先

株式会社日本旅行 水戸支店（受付事務局）

〒310-0026

茨城県水戸市泉町1-2-4 水戸泉町第一生命ビル1F

TEL: 029-224-6007 FAX: 029-224-9569

Email: kouminkan2022@nta.co.jp

営業時間: 9:45～17:45（土日祝休）

■大会全般についての問い合わせ先

第44回全国公民館研究集会

第62回関東甲信越静岡公民館研究大会茨城大会

第8回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会 実行委員会事務局（茨城県教育庁総務企画部生涯学習課内）

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978番6

TEL: 029-301-5318 FAX: 029-301-5339

E-mail: shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp